

みんなので支えあう 健康のまちづくり

健康づくりの推進について
であります。現在、生活環
境や生活様式の変化による生
活習慣病やストレス関連への
対策が課題となっております。
健康を維持するためには、自
身の心がけと取り組みという
ものが第一ではありますが、
個人の意識や努力だけでは困
難な部分も多く、地域ぐるみ
で健康づくりに取り組み、町
民すべてが健康やかに暮らせる
まちづくりを進めて行くこと
が重要であると考えます。本
年度についても各種研修の実
施、健康相談及び保健指導の
充実により健康に対する意識
向上に努めるとともに、各種
検診事業を通じ、病気等の早
期発見、予防体制を充実させ
てまいります。

続いて、高齢者福祉の推進
についてであります。本町に
おける65歳以上の人口は約
28%と高い水準を示しており、
また、核家族化の進行により、
高齢者のみの世帯も増加して
おります。このような状況下
にあって、高齢者の方々が住

み慣れたこの町で
安心して暮らして
いけるよう、福祉
と保健の連携によ
る健康増進活動や
生きがい対策事業
を推進し、高齢者を支える福
祉体制を整えてまいります。

また、障害者福祉につつま
しては、障害者自立支援法の
施行に伴い、障害者とその能
力及び適性に応じ、自立した
日常生活を営むことができる
よう、地域の特性や利用者の
状況に応じた柔軟な事業の展
開が求められております。我
が町において、障害者の方々
が自立した社会生活を営むこ
とができるよう、相談支援事
業、コミュニケーション支援
事業などを展開し、障害者の
自立を促すために必要な支援
を行うとともに、在宅障害者
の日常生活における自立と社
会参加を促すための支援、指
導を実施してまいります。

子育て支援につきましては、
少子化の進行や子育て環境の
変化に伴い、保護者や家庭の
ニーズが多様化していること
から、安心して子供を産み育
てる環境づくり、このことが



大切であると認識をいたして
おります。保育所や子育て支
援センターの運営及び特別保
育事業の実施により保育ニー
ズへの適切な対応、保育環境
の充実を図り、「なかよしキッ
ズクラブ」設置による放課後
児童健全育成事業を推進し、
学童保育の充実を努めてまい
ります。

地域福祉につきましては、
少子高齢化や町民の福祉に対
するニーズが多様化・複雑化
している現状に鑑み、総合的
な福祉推進体制の整備を進め、
必要な施策を実施してまい
ります。本年度は、その指針と
なる地域福祉計画の策定をい
たします。策定に当たりまし
ては、高齢者福祉・障害者福
祉・児童福祉という従来の枠
組みを越え、地域社会全体で
高齢者や障害者を支え合う官
民協働の仕組みづくりという
ことを基調としてまいります。

環境と調和した まちづくり

地球温暖化問題をはじめと
して、地球環境の保全と地域
資源の活用を両立させながら
ていくということが社会全体
に強く求められております。
地域社会におきましても適切
な環境マネジメントを推進す
る体制づくりは、時代が要請
する課題であります。本町に
おいても、このことを踏まえ、
環境基本条例に基づき、地域
の環境保全及び環境問題解決
に向けた施策を総合的かつ計
画的に推進してまいります。と
考えております。本年度はそ
の指針としての役割を担う
「環境基本計画」策定への取
り組みを進めてまいります。

また、生活衛生環境の充実
についてであります。いよ
いよ斎場建設を本格化させて
まいります。本年度早期着工、

本年中の完成及び供用開始を
目指し、着々と準備を進めて
まいります。

快適な住環境の整備につい
てであります。住環境整備
にあたっては、既存の住宅ス
トックを最大限に活用し、本
町の恵まれた自然環境の中で、
誰もが安全安心に生活できる
よう計画的に整備を進め、定
住人口の維持に努めてまいり
たいと考えております。本年
度は、町営住宅の火災被害拡
大防止対策として、火災報知
器設置を予定しております。

道路交通網の充実につつま
しては、主要幹線町道として
町道石泉線整備を進めるほか、
本年度から汐見廻館前線の改
良整備についても着手してま
いります。また、生活関連町
道につきましては、緊急性等
を考慮のうえ、計画的に整備
してまいります。町民バス事
業と乗合タクシー事業につ
きましては、過般実施したアン
ケート結果等に基づき、効率
的で効果的な運行に努めてま
いります。

次に、安全で安定した水の
供給についてであります。上
水道施設につきましては、前

年度に引き続き老朽管更新を
進めるほか、新たな施設の建
設と改良を平行して行ってま
いります。老朽化した水道管
の更新、新たな施設の改良及
びダム建設による水源の確保
など、安全で良質な水を安定
して供給しうる体制の確立と
健全で効率的な上水道事業の
経営を推進してまいります。



知性と豊かな心を 育むまちづくり

教育行政につきましては、
教育委員会との連携を密にし、
その充実を努めてまいります。

学校教育は、人間としての
基礎を築く極めて大きな役割
を担います。本町の学校教育
においては、未来への無限の
可能性を秘めた子供たちが心

身ともに健やかに育ち、様々
な学習と経験を通じ、より高
度な課題に立ち向かえる基礎
学力と基礎体力が定着するよ
う各種施策を展開してまいり
ます。本年度は、施策展開の
基盤となるべき教育環境の整
備に重点を置いた取り組みを
進めてまいります。まず、地
震災害時の対応と良好な教育
環境確保という観点から、地
域住民の理解の下での、学校
の統廃合による学区再編を推
進するとともに、障害のある
子供たちや不登校の児童生徒
が安心して教育が受けられる
環境を整えてまいります。入
谷小学校の新築のほか、老朽
化した学校施設の整備・改修
を計画的に進め、良好な教育
環境を整えてまいります。ま
た、育英資金貸付制度につい
て、利用者増に伴い見込まれ
る資金不足を補足するため、
基金の積み増しをいたし、制
度運営の円滑化を図ってまい
ります。

生涯学習の推進についてで
ありますが、生涯学習は地域
への思いを育み、地域の未来
を考える人づくりという観点
においても重要な役割が期待

できます。行政区や地区公民
館などの既存コミュニティ組
織を核とした、生涯学習を通
じての人づくり、地域づくり
を推進してまいります。図書
館につきましては、蔵書の適
正管理と書籍・資料・情報提
供の充実に努めることなどに
より、町民の利用促進を図っ
てまいります。

また、スポーツ振興につ
きましては、スポーツ交流村や
平成の森など既存の施設の管
理・運営を充実させ、それぞ
れの施設が有する個別の機能
を有効に活用しながら、町民
ニーズに合ったスポーツ機会
を提供し、スポーツを楽しめ
るような環境づくりに取り組
んでまいります。

文化の継承と創造につつま
しては、本町の文化財や伝統
文化は、先人たちが残し伝え
てきた他に誇る貴重な財産で
あることから、文化財の調査
研究と適切な保護活動を進め
るとともに、それらを次代に
継承するための普及活動を行
ってまいります。また、地域に
おける芸術文化の推進や地域
文化の担い手の育成について
も取り組んでまいります。

参加と協働が 活発なまちづくり

総合計画策定に際し、住民
代表で構成された「まちづく
りワークショップ」において、
これからのまちづくりの目指
す方向として、住民一人ひと
りが共に汗を流し、協働の取
り組みの中で進めるまちづく
りということが提唱されてお
ります。したがって、今後
後における各種施策の推進に
当たっては、各分野において
住民との協働のまちづくりを
常に意識し、各種懇談会や新
たなワークショップの創設等
も視野に入れながら、まちづ
くりについて対等な立場で説
明責任を果たし、議論できる
環境の形成に意を用い、住民
自治のさらなる高揚を目指し
てまいります。また、まちづ
くりに対する理念・将来像を
町民と行政が共有し、良好な
信頼関係を築くことが協働の
まちづくりの第一歩であり、
ふるさとまちづくり・ひとづ
くり創出事業及び提案公募型
協働推進事業への取り組みな
どで町民の町政への参加機会
を増やす仕組みづくりを進め、

戦略的な 地域経営の展開



本年度は新町となり初めて
策定した総合計画がスタート
する年度であり、南三陸町と
して本当の意味での計画行政
初年度の年ということになり
ます。この総合計画につつま
しては、町のマスタープラン
として個別計画の頂点に位置
しており、この計画に沿った
形でのまちづくりということ
が基本であります。現下の
町財政を取り巻く環境は年々
厳しさを増していることから、
今後のまちづくりにおいては、
簡素で効率的な「小さな役所づ
くり」を基本として一層の経
費削減に努め、各種施策・事
業の緊急性、効果性を考慮し、
計画と財政とが調和したまち
づくりを進めてまいります。